「松山 子規事典」刊行に当たって

松山子規会は昭和十八年一月の発会以来、七十余年にわたり正岡子規顕彰を続けその成果を蓄積してまいりました。平成二十九年は子規が松山に生まれて一五〇年の記念の年を迎えました。この節目の年にこれまでの成果を集大成し、子規の郷里松山からわが国で初めての「松山　子規事典」を松山子規会編として出版いたします。

正岡子規は、明治の時代に俳句、短歌、写生文などに新風を巻き起こし、晩年は病とその大きな痛苦の中で生命の限りに生き続け、文学革新に邁進しそれを不朽のものとしました。

この度の「松山　子規事典」は、「子規と松山」に関する事項を中心に、子規の世界を理解していただく子規に関わる諸事項の項目を五十音順に配列し、文献資料だけでなくより松山に密着し、子規が見聞きしたであろう場所を実際に歩いて探索し、実証的に取材を重ねその新しい成果も取入れ、子規の故郷ならではの事典として編集・構成に重点を置いております。

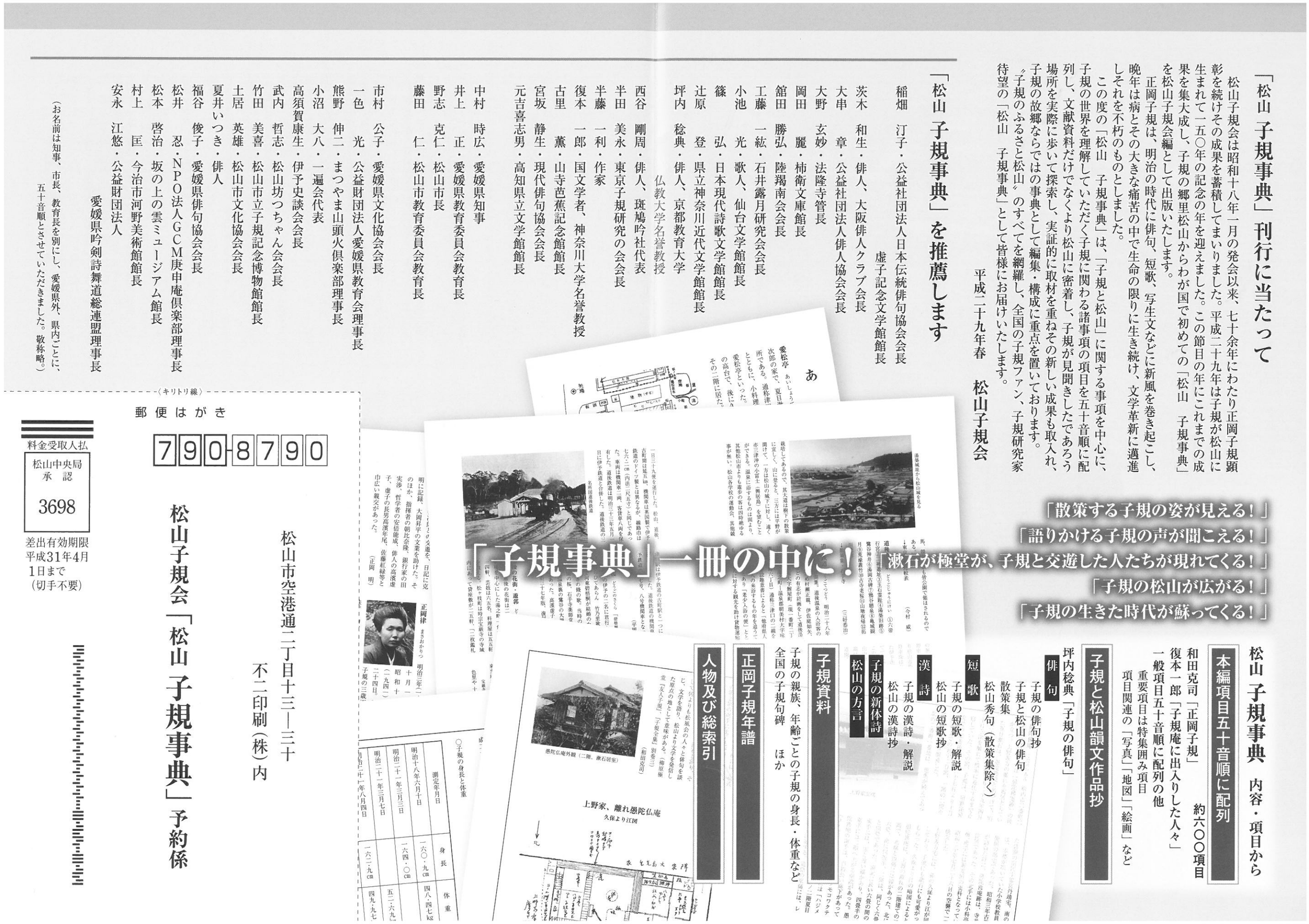
〝子規のふるさと松山〟のすべてを網羅し、全国の子規ファン、子規研究家待望の「松山　子規事典」として皆様にお届けいたします。

平成二十九年春　松山子規会

「松山 子規事典」を推薦します

稲畑　汀子・公益社団法人日本伝統俳句協会会長
虚子記念文学館館長
茨木　和生・俳人、大阪俳人クラブ会長
大串　章・公益社団法人俳人協会会長
大野　玄妙・法隆寺管長
岡田　麗・柿衛文庫館長
舘田　勝弘・陸羯南会会長
工藤　一紘・石井露月研究会会長
小池　光・歌人、仙台文学館館長
篠　弘・日本現代詩歌文学館館長
辻原　登・県立神奈川近代文学館館長
坪内　稔典・俳人、京都教育大学
仏教大学名誉教授
西谷　剛周・俳人、斑鳩吟社代表
半田　美永・東京子規研究の会会長
半藤　一利・作家
復本　一郎・国文学者、神奈川大学名誉教授
古里　薫・山寺芭蕉記念館館長
宮坂　静生・現代俳句協会会長
元吉喜志男・高知県立文学館館長
中村　時広・愛媛県知事
井上　正・愛媛県教育委員会教育長
野志　克仁・松山市長
藤田　仁・松山市教育委員会教育長
市村　公子・愛媛県文化協会会長
一色　光・公益財団法人愛媛県教育会理事長
熊野　伸二・まつやま山頭火倶楽部理事長
小沼　大八・一遍会代表
高須賀康生・伊予史談会会長
武内　哲志・松山坊っちゃん会会長
竹田　美喜・松山市立子規記念博物館館長
土居　英雄・松山市文化協会会長
夏井いつき・俳人
福谷　俊子・愛媛県俳句協会会長
松井　忍・NPO法人GCM庚申庵倶楽部理事長
松本　啓治・坂の上の雲ミュージアム館長
村上　匡・今治市河野美術館館長
安永　江悠・公益財団法人
愛媛県吟剣詩舞道総連盟理事長

（お名前は知事、市長、教育長を別にし、愛媛県外、県内ごとに、五十音順とさせていただきました。敬称略。）



〈キリトリ線〉

郵便はがき

料金受取人払
松山中央局
承　認
3698
差出有効期限
平成31年4月
1日まで
（切手不要）

790-8790

松山市空港通二丁目十三―三十
不二印刷（株）内

松山子規会「松山 子規事典」予約係